



Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

# 地域創造レター

10月号—No.270

2017.9.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew

【モカシン】ヌメ革のようなナチュラルな生成り。

モカシンは、一枚革で足を包み込むようにしたアメリカ先住民の履き物をヒントにしたスリッポン型の靴のこと。昔はタンニンでなめしただけの丈夫なヌメ革が主流だったのでこの色名になったのだろう。ちなみにヌメ革は、使い込めば使い込むほど経年変化して生成りから濃い飴色になる。

## ●目次 / contents

### 今月のニュース.....2

平成29年度「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」報告

### 財団からのお知らせ.....4

平成30年度「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」実施団体募集/ステージラボ横浜セッション開催のお知らせ/(一財)自治総合センター「地域の芸術環境づくり助成事業」募集開始

### 今月の情報.....5

地域通信/特集 アートプロジェクト/アーツセンター情報

### 今月のレポート.....12

広島県民文化センター 「広島神楽」定期公演

## ●平成29年度「公共ホール現代ダンス活性化事業」

# 「ダン活」リニューアルプログラムがスタート

平成29年度

## 公共ホール 現代ダンス活性化 事業



地域創造では「公共ホール等活性化支援事業」として、音楽・ダンス・演劇・邦楽・美術の各ジャンルで地域と連携した事業を展開しています。例年、秋口から各地での事業が本格的に始まります。今回は、新要綱によって実施されている本年度の「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」の模様をレポートします。

### ●ビジョンに基づいてプログラムを選択し実施

これまでのダン活では地域創造の登録アーティストとコーディネーターを地域に派遣し、1週間程度で地域交流プログラム(アウトリーチと公募型ワークショップ)と公演を実施してきましたが、地域のニーズを踏まえ、右図のように要綱の変更が行われました。

主な変更ポイントは、①アウトリーチと公募型ワークショップを実施するAプログラム/市民参加作品を創作するBプログラム/アーティストのレパートリー作品を上演するCプログラムから選択できるようにした上で、3年にわたって実施できるようにしたこと、②B・Cプログラムの公演経費の一部を当財団が負担することとしたこと、③これまでダン活を実施したことのある団体も再度応募できるよう応募資格を緩和したことです。

今年度は13団体(Aプログラム4団体、Bプログラム7団体、Cプログラム2団体)が参加し、その内、過去にダン活を実施した団体も6団体となりました。

### ●閉校する学校の児童と創るダンス公演～くろしおホール

新要綱の特徴となっている市民参加型のBプログラムに挑戦したのが、高知県の土佐清水市立市民文化会館くろしおホールです(期間:8月15日～18日、24日～28日)。くろしおホールは、平成21年度までNPO法人とさしみずが指定管理者として運営しており、21年度にはバリトンの吉川健一さんによるおんかつを実施しています。NPO法人の解散に伴い、現在は土佐清水商工会議所が運営していますが、24年度にはダンスデュオのほうほう堂によるダン活にも挑戦しました。今回の事業を担当した柿谷幸起さんはNPO時代からくろしおホールに携わり、おんかつで事業制作の面白さに目覚めた“生え抜き”です。

「ほうほう堂でコンテンポラリーダンスの事業を初めて行ったときには、期待と不安が入り交じっていましたが、結果として参加者それぞれの心に残るものになったと思っています。さまざまな事情でダン活支援に応募できなかったのですが、今回、過去にダン活を実施した団体も再応募できることになり、5年前に置き忘れたバトンを再び拾うチャンスだと思って参加しました。市民参加型事業はくろしおホールの方針でもあり、今年度で閉校が決まっている中浜小学校の子どもたち全12人と一緒に作品がつくれればと思いました。アーティストには、子どもたちを上手くリードしてくれそうな赤丸急上昇さんを選びました」と柿谷さん。

赤丸急上昇は赤松美智代さんと丸山陽子さ

写真:公演「太陽と月と奇跡の子ども達」  
(左:クリエーションの様子/右:ゲネプロ)  
提供:土佐清水市立市民文化会館くろしおホール

#### ●土佐清水市立市民文化会館くろしおホールのダン活

- 公募型ワークショップ:8月15日
- クリエーション・ワークショップ:8月16日、17日、24日、25日、26日(計5回)
- 公演:赤丸急上昇と中浜小学校児童によるコンテンポラリーダンス公演「太陽と月と奇跡の子ども達」(8月27日/会場:土佐清水市立市民文化会館くろしおホール)

#### ●公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)に関する問い合わせ

芸術環境部 粟林・江坂  
Tel. 03-5573-4055・4073  
dankatsu@jafra.or.jp

## ▼ 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

んによる愛媛県松山市が拠点のダンスユニット。映像とコラボレーションする内面的な世界とエネルギーを外に放出するコミカルで元気な世界が一体となったパフォーマンスを行い、身体を動かすことを楽しむワークショップにも定評があります。今回の創作では、子どもたちと計5回(各2時間半)のクリエイション・ワークショップを実施しました。二人の軽妙なトークで始まった公演では、赤松さんが子どもたちの記憶をひとつひとつ辿るように中浜小学校の木造校舎を巡る新作ダンス映像や、子どもたちの学校生活をモチーフに生きる力を鼓舞するダンスが披露されました。赤松さんは、「ホールに居ながらにして小学校を感じてほしいと思

い、映像をつくりました。子どもたちとのダンスは、その瞬間にしかできない、子どもたちの今を切り取ることができて創作意欲を掻き立てられます。今度は70歳以上のおばあちゃんたちと群舞をつくってみたいです」と参加型ダンスの可能性を改めて感じていました。子どもたちにとっても、地域にとっても、アーティストにとってもダンスで記憶を刻む貴重な経験になったのではないのでしょうか。

今年度はこうした市民参加型の取り組みが全国7カ所で行われます。スケジュールは当財団ウェブサイトアップされていますので、近くで行われる新しいダン活の取り組みをぜひ視察していただければと思います。

●平成29年度公共ホール現代ダンス活性化事業 参加団体

(主会場/アーティスト/日程)

○Aプログラム

●徳島県徳島市  
(徳島県郷土文化会館あわぎんホール/セレノグラフィカ/9月15日～18日)

●静岡県川根本町

(川根本町文化会館/東野祥子/10月11日～14日)

●埼玉県入間市

(入間市産業文化センター/赤丸急上昇/12月5日～8日)

●宮崎県宮崎市

(宮崎市民プラザ/田畑真希/12月21日～24日)

○Bプログラム

●長野県上田市

(サントミューゼ上田市交流文化芸術センター/鈴木ユキオ/5月13日～14日、7月18日～24日)

●高知県土佐清水市

(土佐清水市立市民文化会館くろしおホール/赤丸急上昇/8月15日～18日、24日～28日)

●山形県酒田市(酒田市民会館希望ホール/鈴木ユキオ/9月29日～10月2日、11月30日～12月4日)

●北九州市

(北九州芸術劇場/田畑真希/11月2日～4日、15日～20日)

●兵庫県西宮市

(西宮市フレントホール/東野祥子/11月17日～20日、23日～27日)

●兵庫県豊岡市

(豊岡市民プラザ/田村一行/2018年1月11日～14日、18日～22日)

●山梨県甲斐市

(甲斐市双葉ふれあい文化館/セレノグラフィカ/1月26日～29日、2月1日～5日)

○Cプログラム

●愛知県豊橋市

(穂の国とよはし芸術劇場/鈴木ユキオ/6月22日～25日)

●東京都国立市

(くにたち市民芸術小ホール/田村一行/12月21日～24日)

### 公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)の仕組み



## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

## 財団からのお知らせ

### ●平成30年度「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」実施団体募集

公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)実施団体を対象としたフォローアッププログラムです。ダン活で蓄積したノウハウを活用し、引き続き同様の事業を自主的に行う地方公共団体等に対し、財政的な支援を行います。

なお、登録アーティストのプロフィール等の資料は、本事業の対象団体に送付させていただきます。

#### ◎対象団体

- ダン活を平成28年度に実施した地方公共団体等
- ダン活支援を平成29年度に初めて実施した地方公共団体等

#### ◎対象アーティスト

公共ホール現代ダンス活性化支援事業登録アーティスト(21組)

#### ◎支援内容

支援1年目は以下の①～③に係る経費の2/3を、2年目は1/3を地域創造が助成します。

①公演、地域交流プログラムおよび関係者向けワークショップに係る経費:

アーティスト、アシスタント(ソロの場合のみ)、共演者、テクニカルスタッフ等の出演料等(上限あり)、交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、損害保険料

②現地下見に係る経費:

アーティスト、テクニカルスタッフ等の交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、損害保険料

③舞台費:

舞台監督、照明、音響テクニカルスタッフ等の公演の実施に必要な人件費(上限額あり)

※詳細については要綱をご確認ください。

募集締切: 10月31日(火)必着

### ●ステージラボ横浜セッション開催のお知らせ

ステージラボは公立文化施設等の職員を対象に、ワークショップなど体験型プログラムやグループディスカッションなど、講師と参加者の双方向コミュニケーションを重視したカリキュラムに取り組む、少人数形式の実践的な研修事業です。今年度後期セッションは2018年2月20日～23日、横浜市の横浜みなとみらいホールを会場に、ホール入門、自主事業(音楽)の2コースを予定しています。

詳細および参加者募集については、今後地域創造レターおよび当財団ウェブサイトにてお知らせします。

#### ◎横浜みなとみらいホール

同館は1998年に開館した音楽専用ホールで、大型のパイプオルガンを設置した大ホール(2,020席)とウッドデッキの屋上庭園を隣接した小ホール(440席)では、毎日のようにコンサートが開催されています。豊かな「音楽社会」を拓くコンサートホールの実現を掲げ、国内外のトップアーティストによる公演や、低料金で楽しめるコンサート、他ジャンルとのコラボレーションや次世代のアーティストを育成する事業、小学校などへのアウトリーチ事業など独自の企画を展開。多くの方々に音楽を身近に感じていただける場を提供しています。

運営団体の(公財)横浜市芸術文化振興財団は、創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現に寄与することを使命として、美術、音楽、ダンス、古典芸能、大衆芸能などあらゆるジャンルの芸術文化を総合的に振興しています。

### ●(一財)自治総合センター「地域の芸術環境づくり助成事業」の募集開始について

(一財)自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業であるコミュニティ助成事業の一環として、公立文化施設の利活用の推進や企画制作能力の向上等を図るため、市(区)町村(ただし政令指定都市を除く。)に対する「地域の芸術環境づくり助成事業」を実施しています。

このたび平成30年度事業の募集が開始されましたのでお知らせしますとともに、積極的なご活用をお願いします。締切は各都道府県の

文化担当課へお問い合わせください。

[問い合わせ]一般財団法人自治総合センター

担当: 中田 Tel. 03-3504-0841

※事業の詳細につきましては、(一財)自治総合センターのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jichi-sogo.jp/>

※都道府県から(一財)自治総合センターへの締切は11月30日(木)必着。

#### ●「公共ホール現代ダンス活性化支援事業」に関する問い合わせ

芸術環境部 佐藤・栗林  
Tel. 03-5573-4075・4055  
[dankatsu@jafra.or.jp](mailto:dankatsu@jafra.or.jp)

#### ●ステージラボに関する問い合わせ

芸術環境部 梅田・高澤  
Tel. 03-5573-4068・4093

## ▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

## 地域通信

### ● データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示しているのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

### ● 地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川  
[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知  
[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山  
[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知  
[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

### ● 情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。  
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093  
letter@jafra.or.jp  
地域創造情報担当 宇野・高澤

### ● 2017年12月号情報締切 11月2日(木)

### ● 2017年12月号掲載対象情報 12月～2018年2月に開催もしくは募集されるもの

### 地域創造ウェブサイト「人材ネットバンク」 掲載情報募集中

当財団ウェブサイト内に以下の情報を掲載するページを設けています。

- ◎ 公共ホール等の求人情報
- ◎ 公共ホール等で実施する人材育成研修の開催情報

掲載・申込方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.jafra.or.jp/>

### 北海道・東北

#### ● 北海道苫小牧市

苫小牧市美術博物館  
〒053-0011 苫小牧市末広町3-9-7  
Tel. 0144-35-2550 福田絵梨子  
<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>

#### 柳原良平の海・船・港

国内屈指の港湾都市であり、日々さまざまな船が行き交う苫小牧で、「アンクルトリス」の生みの親であり、また無類の船好きとしても知られるイラストレーター・柳原良平(1931～2015)の回顧展を開催。切り絵や油彩、水彩などの絵画を中心に、アニメーション映像やグッズも含めた約120点を紹介。苫小牧や北海道の風景を描いた作品も展示される。

[日程] 9月9日～11月12日  
[会場] 苫小牧市美術博物館

#### ● 青森県八戸市

酔っ払いに愛を2017実行委員会  
〒031-0032 八戸市三日町11-1 (八戸ポータルミュージアムはっち内)  
Tel. 0178-22-8228 榎部・盛  
<http://yopparai8.jp/2017/onlyyoutheater/>

#### 酔っ払いに愛を2017 横丁オンリーユシアター

八戸市街地に古くからある横丁のお店や路地を劇場に見立て、ダンスやコメディ、トークショーなど、横丁ならではの狭い空間を活かしながらさまざまなアートパフォーマンスを繰り広げる。横丁のお店をはしごしながら、お酒を片手にアートを楽しむことができる空間をつくり出す。

[日程] 10月6日、7日  
[会場] 八戸市中心街横丁の店舗や路上

#### ● 宮城県蔵王町

蔵王町ふるさと文化会館

〒989-0821 菊田郡蔵王町大字円田字西浦5

Tel. 0224-33-2018 我妻健太  
<http://www.gozain.jp/>

#### 第2回加川広重アートプロジェクト「星を巡る、絵画への旅」

蔵王町出身の画家、加川広重の巨大絵画『星団の誕生』『全天星座図』(高さ約5.4m×幅約16.4m)を展示する絵画展。会期中、巨大絵画を描くワークショップや作者のトークイベント、星空観賞イベントをはじめ、絵画展のためにつくられた新曲や星をテーマにした曲を演奏する絵画展コンサートを開催する。

[日程] 9月30日～10月9日  
[会場] 蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)ほか

#### ● 秋田県秋田市ほか

石井漢・土方巽記念国際ダンスフェスティバル実行委員会  
〒011-0951 秋田市土崎港相染町字沼端71-11 ポートプラザ秋田2-11  
Tel. 018-874-9037 金子美和  
<http://www.odoru-akita.org/>

#### 『踊る。秋田2017』

#### 第2回石井漢・土方巽記念国際ダンスフェスティバル

石井漢と土方巽という二人の天才を生み出した秋田を、「舞踊・舞踏の聖地」として国内外に広く発信し、地域活性化を目指して開催されるダンスフェスティバル。3日にわたるファイナリスト公演を経て、「土方巽記念賞」受賞者が決定されるほか、秋田のダンサーによる「あきたダンスコレクション」、ダンスにまつわる講座「PA大学校」なども開催される。

[日程] 7月29日～11月19日  
[会場] 秋田県児童会館、大町イベント広場(秋田ニューシティー跡地)、国際教養大学 Suda Hall、新政酒造 旧感恩講西粉蔵、秋田市文化会館、三種町山本ふるさと文化館ほか

### 関東

#### ● 茨城県水戸市

水戸市芸術振興財団  
〒310-0063 水戸市五軒町1-6-8  
Tel. 029-227-8118 中村・関根  
<http://arttowermito.or.jp/>

#### 水戸室内管弦楽団 第100回定期演奏会

1990年に水戸芸術館の専属楽団として結成された水戸室内管弦楽団が四半世紀の時を経て、第100回定期演奏会の節目を迎える。水戸芸術館館長の小澤征爾と同楽団団員のラデク・パボラークの指揮の下、新たな門出にベートーヴェンの交響曲第9番を奏でる。

[日程] 10月13日、15日  
[会場] 水戸芸術館



第95回定期演奏会(小澤征爾指揮)  
(2016年3月25日) ©Michiharu Okubo

#### ● 茨城県小美玉市

小美玉市文化センター(アピオス)  
〒311-3423 小美玉市小川225  
Tel. 0299-58-0921 林美佐  
<http://apios.city.omitama.lg.jp/>

#### APIOS STREET DANCE FESTIVAL ONE 2017

「ひとりひとりが主役のフィールドへ」をテーマに実力派ダンサーがアピオスに集結する。大ホール公演では、世界や全国クラスで活躍するメンバーや茨城を拠点として活動する国内トップレベルのダンサーが公演。また国内トップアーティストによる振付作品が65人を超えるダンスワークショップ参加者によって上演される。屋外広場ではダンスバトルを開催するほか、地域の特色を活かしたグルメセ

クッションやハンドメイド品の販売も行われる。

[日程]10月15日

[会場]茨城県小美玉市小川文化センター(アビオス)

#### ●さいたま市

埼玉県

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

Tel. 048-830-2882 小川直樹

<https://www.saitama-wabi-sabi.jp/>

#### 埼玉WABI SABI大祭典2017 “WA”—Japanese Culture— 伝統×革新

伝統芸能、盆栽や生け花、茶道など、埼玉の“和”の文化の魅力を、見て、感じて、楽しめる屋外型フェスティバル。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会およびラグビーワールドカップ2019に向け、両大会の気運醸成と埼玉の魅力を国内外に発信することを目指して開催する。

[日程]10月21日、22日

[会場]大宮公園ほか

#### ●さいたま市

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1

Tel. 048-824-0111 平野・大越

<http://www.pref.spec.ed.jp/momas/>

#### ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに

メキシコ国立芸術院(INBA)との共同企画により実現した展覧会。メキシコを代表する画家、ディエゴ・リベラ(1886~1957)は、メキシコ革命後の1920年代、その思想を民衆に伝える壁画運動に尽力し、世界的な注目を集めた。その一方、肖像画や風俗画においても、優れた作品を残している。厳選された約30点の作品を通してリベラの画業をたどりながら、同時代の画家も紹介し、メキシコの近代美術の魅力を探る。

[日程]10月21日~12月10日

[会場]埼玉県立近代美術館

#### ●東京都新宿区

新宿未来創造財団

〒160-0022 新宿区新宿6-14-1

Tel. 03-3350-1141 山本ひろみ

<http://www.regasu-shinjuku.or.jp/bunka-center/>

#### 新宿フォークソングが流れる街 ~新宿には今日もフォークソングが流れている~

新宿を再びフォークソングの流れる街にすることを目的に始まったコンサート。なごら健壺の呼びかけで多くの大物フォークシンガーが結集し好評を博しており、3年目の今年も内容を新たに開催する。団塊世代の若き日のパワーを奮い起こさせ、これからの時代の中心となる若い世代へ時代と年代を超えたメッセージを贈る。

[日程]10月7日

[会場]新宿区立新宿文化センター

#### ●横浜市

KAAT神奈川芸術劇場

〒231-0023 横浜市中区山下町281

Tel. 045-633-6500 小沼知子

<http://www.kaat.jp/>

#### KAAT×高山明/Port B 『ワグナー・プロジェクト』— 「ニルンベルクのマイスター ジンガー」—

日本の劇場では8年ぶりのクリエーションとなる高山明が、近代的な演劇の手法を確立したといわれるワグナーを「ヒップホップ」に接続したプロジェクトに挑む。9日間、計54時間にわたる上演中に、ラップやグラフィティ、ファッションショーなど、あらゆるストリートカルチャーが同時多発的に展開され、観客にそれぞれの楽しみ方を提供する。

[日程]10月20日~28日

[会場]KAAT神奈川芸術劇場

#### ●横浜市

横濱 JAZZ PROMENADE実行委員会

〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1F

Tel. 045-211-1510 渡辺明美

<http://jazzpro.jp/>

#### 横濱 JAZZ PROMENADE 2017

「街全体をステージに」を合言葉に、1993年に始まったジャズ・フェスティバル。25回目の今回は、ジャズ生誕100年の年でもあり、イベントの歩みやジャズ(レコード)の歴史の展示や、生誕100周年を迎えるレジェンド・ミュージシャンのトリビュートステージなどを企画。2年目となるデトロイト・ジャズ・フェスティバルとの交流では、今年からコンペティションで選んだ若手ミュージシャンによるバンドを派遣し、横浜では同バンドとデトロイトから派遣されるバンドとのセッションも開催。

[日程]10月7日、8日

[会場]横浜市開港記念会館ほか市内約50会場

#### 北陸・中部

#### ●岐阜県岐阜市

岐阜県美術館

〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

Tel. 058-271-1313 後藤弘行

<http://www.kenbi.pref.gifu.lg.jp/>

#### 開館35周年記念 ナンヤローネNo.3

#### BY80s FOR20s

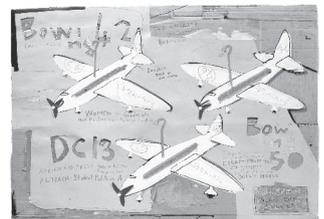
#### 1980年代発⇄2020年代行き

気軽に美術に親しんでもらうためのアートプロジェクト「ナンヤローネ」の第4弾。1980年代、販売流通や商業メディアを介して新たな表現の場へと展開したアートは流行や新しい表現様式を生み、やがて時代の顔として社会の姿や定義そのものを変えていった。今アートはこの潮流を基盤に、次世代社会が求める異なる背景をもつ多様なコミュ

ニティーを繋ぐ存在として、より一層重要な役割を担おうとしている。本展ではこの仮説から80年代の作品・資料と2020年代を予見させる作品を紹介。会期中には、日比野克彦館長による基調講演やギャラリートークなどを開催。

[日程]9月8日~10月29日

[会場]岐阜県美術館



日比野克彦《PRESENT AIRPLANE》  
(1982年/岐阜県美術館蔵)

#### ●岐阜県岐阜市

サラマンカホール

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53

Tel. 058-277-1113 金子根古

<https://salamanca.gifu-fureai.jp/>

#### ぎふ秋の音楽祭2017 “鍵盤の日”

鍵盤楽器によるコンサートを図書館や美術館など周辺施設と合同で、3週間にわたって開催する。4人のピアニストの同時演奏が観られる「ピアノパーティー」、横山幸雄による「10時間ショパン連続演奏」、県美術館で行うマリンバコンサートなど多彩なプログラムを予定。

[日程]10月28日~11月19日

[会場]サラマンカホールほか

#### ●岐阜県美濃加茂市

美濃加茂市民ミュージアム

〒505-0004 美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1

Tel. 0574-28-1110 和歌由花

<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

#### 河村み When I am laid in earth—私が大地に横たわると き—

## ▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

開館以来“芸術と自然”をテーマに開催しているレジデンスプログラム。今年度は自分自身の生の思索を身体で表現するアーティスト・河村みによる映像と音を用いた新作インスタレーション作品を展示する。地元のNPO団体と共催で、一般参加者が撮影した美濃加茂の森と町の映像を使った作家のワークショップも行き、市民との協働も仕掛ける。

[日程]9月9日～10月22日

[会場]美濃加茂市民ミュージアム

### 近畿

#### ●滋賀県大津市

びわ湖大津秋の音楽祭運営協議会事務局

〒520-0047 大津市浜大津

4-1-1(大津市都市再生課内)

Tel. 077-528-2501 橋本・谷口

<http://biwa-on.jp/>

#### びわ湖大津秋の音楽祭

今年で9回目となる滋賀県最大級の音楽祭。「音楽の○△□を見つける」をキーワードに、大津市内でさまざまなコンサートやステージを展開するほか、ダンスや演劇、さらに街中でもコンサートやフリーマーケットなど多彩なイベントが行われる。メインイベントとして名門・大阪府立淀川工科高校吹奏楽部と一般参加の総勢約1,000人にも及ぶ大合奏「びわ湖に響け! 1000人の吹奏楽」を開催。

[日程]9月9日～11月8日

[会場]びわ湖ホール、おまつり広場、しがぎんホールほか

#### ●大阪府枚方市

枚方市文化国際財団

〒573-0032 枚方市岡東町8-33

Tel. 072-843-1123 円谷秀樹

<http://www.hirabunkoku.or.jp/culture/hirakata%20city%20opera%203.html>

#### 枚方シティオペラ第3回公演 プッチーニ作曲 オペラ『蝶々夫人』

枚方ならではのオペラ公演に取り組む「枚方シティオペラ」の第3回公演。市民公募による約50人の枚方シティオペラ合唱団が4か月間の練習を経てバックコーラスで出演する。また3年目の今年は、国際文化芸術交流の一環として、本場イタリアより指揮者ガブリエーレ・ベツォーネ、シャープレス役マルチェロ・リッピが参加する。

[日程]10月15日

[会場]枚方市市民会館

#### ●兵庫県赤穂市・姫路市

赤穂国際音楽祭実行委員会/

姫路国際音楽祭実行委員会

〒678-0292 赤穂市加里屋81

Tel. 0791-43-6867 桃井

<http://www.imf-le-pont.jp/>

#### ル・ボン国際音楽祭2017 赤穂・姫路

一流の芸術にふれ、クラシック音楽を楽しむ土壌を醸成することを目的として2007年に始まった音楽祭。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターを務める世界的ヴァイオリニスト・榎本大進が音楽監督を務め、榎本と親交のある世界的な演奏家による室内楽のコンサートを繰り広げる。また、今回は2年ぶりとなる赤穂城跡での野外コンサートが行われる。

[日程]10月7日～14日

[会場]赤穂城跡、赤穂市文化会館、パルナソスホール

#### ●兵庫県姫路市

姫路市書写の里・美術工芸館

〒671-2201 姫路市書写1223

Tel. 079-267-0301 岡崎美穂

<http://www.city.himeji.lg.jp/kougei/index.html>

#### 姫路千年の革—伝統と技—

姫路が誇る皮革産業を未来へ伝えることを目的に、江戸から現代に至る姫路の革の歴史と魅力を紹介する展覧会。現代の

ものを含めた革の展示としては初の試みとなる。江戸期に塩・油・水と手わざのみによってつくられた姫路革、明治期のタンニンなめしによる製品、大正期以降のクロムなめしによる製品の3つを柱とし、約170点のさまざまな革製品を紹介する。実際の革に触れられる展示もある。

[日程]9月2日～10月15日

[会場]姫路市書写の里・美術工芸館

#### ●兵庫県伊丹市

伊丹市立工芸センター(いたみ文化・スポーツ財団)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前2-5-28

Tel. 072-772-5557 中山真由美

<http://www.mac-itami.com/>

#### 七宝の現在～東日本の作家を中心に～

東日本を拠点に活躍する9名の七宝作家を紹介する展覧会。近年、明治期の細密な手仕事によって注目を浴びる七宝だが、有線七宝や泥七宝など、伝統的な技法を用いながら、現代的な感覚を取り入れ、その革新に取り組む卓越した手業を紹介する。蓋物や香炉を中心に、アクセサリーなどを含めた計84点を展示する。

[日程]9月9日～10月22日

[会場]伊丹市立工芸センター

### 中国・四国

#### ●島根県浜田市

浜田市教育文化振興事業団

〒697-0016 浜田市野原町859-1

Tel. 0855-23-8451 門千穂

<http://www.hamada-kodomo-art.com/>

#### 再生アートプロジェクト

#### 浜田2017「新聞紙の変身展」

昨年開催した「ダンボールの変身展」に続き、再生アートプロジェクトin浜田の第2弾として、

新聞紙アートの魅力をたっぷり紹介する展覧会を開催。現在活躍中の造形作家4名による、新聞紙を使って制作された作品の数々を鑑賞することで、新たな発見を楽しむことのできる内容となっている。

[日程]10月14日～2018年1月14日

[会場]浜田市世界子ども美術館

#### ●岡山市

おかやま国際音楽祭実行委員会事務局

〒700-0825 岡山市北区田町

1-8-30(岡山市スポーツ・文化振興財団内)

Tel. 086-232-7811 三村晃弘

<http://okayama-sc.jp/oimf/2017/>

#### おかやま国際音楽祭2017

「音楽に染まる この街が好き」を掲げ、市内のホールをはじめ、野外や街角で40を超える音楽イベントを実施。11年目を迎える今年は、下石井公園の特設ステージで行われるメインイベント「下石井3DAYS」では、世代を超えて楽しめるコンサートやクリスマス・ハートやケイコ・リーほか人気ミュージシャンによるライブを開催。そのほか期間中には親子参加型コンサートなども行われ、音楽のもつ楽しさや喜びを共有できる空間を展開する。

[日程]9月30日～10月15日

[会場]下石井公園ほか



昨年の「下石井3DAYS」

#### ●岡山県津山市

津山国際総合音楽祭委員会

〒708-0022 津山市山下68

Tel. 0868-24-7744 松田杏子

<http://tsuyama-ongakusai.jp/>

### 第10回津山国際総合音楽祭

1987年から概ね3年ごとに開催されてきた伝統ある音楽祭。音楽を通して人づくりを目指すという意味から《未来に架ける人の輪・音の輪》をメインテーマとしている。マーラーの交響曲第4番や歌曲リサイタルなどマーラーに関する演奏や、筑前琵琶、乙女文楽、江戸浄瑠璃などの伝統芸能、市民参加によるプラスフェスティバルなどを開催。

[日程] 10月21日～11月26日

[会場] 津山文化センター、衆楽園迎賓館ほか



前回の音楽祭(津山ジュニア・ジャズ・オーケストラ)

### ● 広島県呉市

呉市立美術館

〒737-0028 呉市幸町入船山公園内

Tel. 0823-25-2007 渡辺千尋

<http://www.kure-bi.jp/>

### 無言館 遺された絵画

窪島誠一郎(著述家・評論家)らが数十年にわたって収集した戦没画学生の作品や資料を収蔵する長野県上田市の無言館のコレクションを「家族」「生きる」「夢」「祖国」「無情」の5章立てで展示する。特に広島で被爆死した地域作家・手島守之輔を特集。他館や手島の遺族が所有する写真資料・作品や、周辺作家の作品も加え、戦争時代を生き延びた画家たちを紹介する。

[日程] 9月16日～11月19日

[会場] 呉市立美術館

### ● 山口県萩市

山口県立萩美術館・浦上記念館内

〒758-0074 萩市平安古町

586-1

Tel. 0838-24-2400 吉田洋子

<http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

### プリティー♡プリント 江戸の花鳥版画展

現代にも通じる小動物たちのかわいらしさや、草木の華々しさに着目したタイトルを冠する、花鳥版画を集めた展覧会。浮世絵を中心とした江戸初期から明治にわたる花鳥版画の展開を、約180点の作品により展覧する。浮世絵以外の花鳥画や、絵師たちがモチーフについて学んだ図柄集や絵本などと本草学・博物学との関連についても紹介し、その諸相を考察する。

[日程] 9月16日～10月22日

[会場] 山口県立萩美術館・浦上記念館

### ● 香川県高松市

かがわ文化芸術祭実行委員会

〒760-8570 高松市番町4-1-10

Tel. 087-832-3785 伏貫亮

<http://www.kagawa-arts.or.jp/88/>

### かがわ文化芸術祭2017

文化芸術に親しむ機会の充実を図ることを目的として開催される芸術祭。59回目となる今年の主催公演・行事では、民話をテーマにアートコンポ香川が開催する作品展を中心として、さまざまなジャンルのアート表現に取り組むなど、盛りだくさんの内容が予定されている。

[日程] 10月1日～12月31日

[会場] 香川県内一円

### ● 高知県高知市ほか

高知県芸術祭執行委員会事務局

〒781-8123 高知市高須353-2(高知県文化財団内)

Tel. 088-866-8013 政岡知実

<http://www.kochi-art.com/>

### 高知県芸術祭

芸術に接する機会を増やし、高

知の文化芸術の魅力を再発見することを目的に、今年67回目の開催となる総合芸術祭。県内各地で文化芸術活動を行う団体・個人が参加し、さまざまな行事が開催される。昨年に引き続き、オープニングイベントでは「日露交歓コンサート2017」を開催。

[日程] 9月19日～12月17日

[会場] 高知県内各地

### 九州・沖縄

#### ● 福岡市

新・福岡古楽音楽祭実行委員会  
〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 西館2F(アクロス福岡事業部内)

Tel. 092-725-9327 添嶋麻里

<http://www.kogaku.net/>

#### 新・福岡古楽音楽祭

プロのコンサートやアマチュアの発表の場、参加者の研鑽と交流の場となるよう新しい世代が積極的に企画・運営に関わり、古楽で繋がる交流の輪を広げていくことを目指す音楽祭。今年にはラ・プティット・バンドを迎え、バロック音楽から古典派音楽まで幅広く古楽を楽しむことができる。

[日程] 10月20日～22日

[会場] アクロス福岡、あいろん

#### ● 福岡県宗像市

(公財)宗像ユリックス

〒811-3437 宗像市久原400

Tel. 0940-37-1311 猪俣司郎

<http://yurix.munakata.com/>

#### 宗像ミアーレ音楽祭2017

#### 響きわたれ!おんがくの風

誰もが身近に音楽に親しみをもち、参加することで、市全域が音楽で溢れ、市民が音楽を通して一体感を共有し、宗像をもっと好きになることを目的として開催している音楽祭。今年、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録を記念し、「女神たちと祝祭の瞬間

(とき)」と題した九響コンサート(指揮:三ツ橋敬子、ソリスト:森麻季、米元響子)や恒例のミアーレ・ジュニア合唱団コンサートなど7つの有料公演のほか、44組が参加する市民ステージが予定されている。

[日程] 10月7日、8日

[会場] 宗像ユリックス

#### ● 熊本市

熊本市現代美術館

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3

Tel. 096-278-7500 富澤治子

<http://www.camk.or.jp/>

#### 開館15周年記念

#### 蒼(ほまれ)のくまもと展

熊本地震を起点に、「熊本の歴史と未来」をテーマにして作家の目を通して検証する展覧会。石内都や石川直樹、寺田克也など国際的に活躍する現代美術作家たちが熊本城や肥後六花、石牟礼道子など熊本にちなんだテーマに取り組んだコミッションワークや、開館から調査を続けている生人形の新発見作品・資料などを幅広く紹介。

[日程] 9月16日～11月26日

[会場] 熊本市現代美術館

#### ● 熊本県宇城市

不知火美術館

〒869-0552 宇城市不知火町高良2352

Tel. 0964-32-6222 浦田恭代

<http://kumamoto-museum.net/shiranuhi/>

#### こみねゆら絵本原画展

#### 小さな世界へようこそ

1999年の開館以来、毎年継続してきた絵本原画展。熊本地震による長期休館から再オープンして第2弾となる本展では、熊本県出身・在住のこみねゆらを紹介する。『しいちゃんふうちゃんほしのよる』などの原画約80点のほか、こみねがつくり続け

## ▼ 今月の情報 (特集 アートプロジェクト)

ている小さな人形も併せて展示する。

[日程] 9月13日～10月29日

[会場] 不知火美術館

### ● 熊本県小国町

坂本善三美術館

〒869-2502 阿蘇郡小国町黒

淵2877

Tel. 0967-46-5732 山下弘子

<http://sakamotozenzo.com/>

### コレクション・リーディングvol.2

藤浩志と小国び塾が作る善三展  
「こんな解釈、ありなんだ!」

ジャンルを超えたゲストを迎え、収蔵品を再解釈する展覧会シリーズの第2弾。今回は美術家・藤浩志が「小国び塾」をプロデュースし、公募で集まった町内外の参加者12人9組が収蔵品から発想を得て、それぞれの生活の中で「アートなプロジェクト」を実施。その過程をブログで紹介するほか、4回の全体ミーティングを経て、元となった収蔵品とともにその成果を展示する。

[日程] 9月16日～11月26日

[会場] 坂本善三美術館

### 講座・シンポジウム等

倉敷と塩竈 もうひとつの物語  
～大原美術館と文化交流を語る～

東日本大震災の復興支援を縁に、倉敷と塩竈の地域間芸術文化交流を目的として、倉敷・大原美術館学芸課長の柳沢秀行によるトークイベントや、大原美術館のアーティスト・イン・レジデンス事業「ARKO2017」招聘作家・水野里奈、日本画家・三瀬夏之助ほかとの座談会を開催。それぞれの地域の取り組みや今後の交流、文化発信などについて語り合う。

[日程] 10月28日

[会場・問い合わせ] 塩竈市杉村惇美術館 Tel. 022-362-2555  
<http://sugimurajun.shiomo.jp/>

## 特集 アートプロジェクト

前号に続き、全国各地で開催されている多彩なアートプロジェクトを紹介しつづけます。

※開催地の北から順に掲載。

☉は会場、☺は問い合わせ先です。  
(☞は地域創造助成事業)

### ● 福島県会津若松市

10月1日～11月5日

あいづまちなか

アートプロジェクト2017

会津の文化資源である漆をテーマとした「会津・漆の芸術祭」と、会津が誇るアーティストの優れた芸術作品などを展示する「まちなかピナコテカ」を二本柱としたアートイベント。古くから地域にある建物がもつ空間的魅力と芸術作品とのコラボレーションにより、まちなかをアートで彩る。

☉七日町通り・野口英世青春通りなどを中心とした市内各所  
☺あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会 Tel. 0242-39-1305

### ● 石川県金沢市

9月10日～12月17日

2017ビエンナーレいしかわ  
秋の芸術祭

1999年に始まった県内最大の総合芸術祭。10回目となる今年、芸術文化協会加盟団体によるオープニングステージや東西の人気落語家が揃う「金沢落語まつり」のほか、47の加盟団体による公演や展覧会など、3カ月にわたり過去最多となる60の事業が予定されている。

☉石川県立音楽堂、金沢歌劇座、北國新聞赤羽ホールほか  
☺2017ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会事務局  
Tel. 076-263-6080

### ● 長野県東御市

9月30日～10月29日

天空の芸術祭2017  
[Life is ART]

東御市と東京藝術大学による域学

連携事業としてスタートした芸術祭。総合プロデューサーは現代美術家で東京藝術大学副学長の保科豊巳。「アートは地域の自然や生活から生まれてきたお祭りのようなもの」という発想で、旧稚蚕飼育所をはじめ、美術館や神社、池などを会場に展開する。2回目の今回は地元作家から招聘作家まで27名と3チームのアーティストが参加。

☉長野県東御市北御牧地区  
☺天空の芸術祭実行委員会  
tenkuartfes@gmail.com

### ● 静岡県掛川市

10月21日～11月19日

かけがわ茶エンナーレ

美しい茶畑が広がる掛川市で開催されるお茶とアートが融合した芸術祭。国内外で活躍する21組の日本人アーティストと、一般公募で選ばれた市民らが、お茶をテーマに100件以上の多彩なプログラムを展開する。市内全域の50カ所以上の会場では、おもてなしの心「喫茶去(きっさこ)」の精神とアートと掛川茶が来訪者を出迎える。

☉掛川市内各所  
☺かけがわ茶エンナーレ実行委員会  
Tel. 0537-21-1126



船井美佐《COMET—大地をひらく、星をみあげる—》2017年制作

### ● 名古屋市

10月28日～11月19日

やっとかめ文化祭

知られざる都市の魅力の再発見や情報発信を図るため、歴史的建造物などを活用して、名古屋独自の歴史や文化に根ざしたイベントを繰り広げる。能・狂言、舞踊などの舞台公演や、観覧無料の辻狂言、ストリート歌舞伎、お座敷芸など、多彩な芸を披露するほか、まち歩きミニツアーなどを開催。

☉名古屋能楽堂ほか市内各所  
☺やっとかめ文化祭実行委員会  
Tel. 052-262-2580

### ● 愛知県豊田市

公演: 9月10日、24日、10月8日  
展示: 11月19日～26日

農村舞台アートプロジェクト2017  
農村舞台をギャラリーや劇場に見立てて、展覧会やライブを地域住民と協働で開催するプロジェクト。オペラガラコンサート(9月10日)や小田木人形座と黒田人形保存会の合同公演(9月24日)、舞踏カンパニー倚羅座公演(10月8日)、藤岡地区の農村舞台を使ったアート展が開催される。

☉磯崎神社、八幡神社、諏訪神社ほか  
☺豊田市文化振興財団  
Tel. 0565-31-8804

### ● 愛知県長久手市

9月30日～10月22日

ながくてアートフェスティバル  
2017

今年で11回目を迎えるアートフェスティバル。“交流元年”をキーワードに、作家と“会える・話せる”アートフェスを目指し、作品展示の鑑賞だけでなく、作家と一緒に会場を巡ったり、カフェで話ができるなど交流のもてるバスツアーなどを企画。また、さまざまなジャンルの製作体験教室なども開かれる。

☉長久手市文化の家ほか市内各所  
☺ながくてアートフェスティバル実行委員会 Tel. 0561-61-3411

### ● 滋賀県長浜市 10月7日、8日

ART IN NAGAHAMA 2017

1987年に「秀吉公が長浜城下にもうけた楽市楽座を、芸術の視点で再興する」ことをテーマとして、さまざまな職業の市民が議論を重ねてスタート。毎年、長浜の中心市街地に全国から約200組のアーティストが集結。今年も動物墨絵師の佐藤周作が1週間滞在し、地域のイメージに合う動物の絵を襖に描くライブペインティングや、滋賀県立大学デザイン専攻の学生によるバードハウスの展示販売なども行

われる。

Ⓔ長浜市中心市街地

ⒺNPO法人ギャラリーシティ楽座

Tel. 0749-65-0393



昨年の様子

●京都市 10月14日～11月5日

### KYOTO EXPERIMENT 2017 京都国際舞台芸術祭

2010年より毎年秋に京都市内の劇場を中心に世界各地から先鋭的な舞台芸術を紹介してきたフェスティバル。8回目の今回は「内なる他者との出会い」をテーマに、アーティスト自身が地理的・ジャンルの・方法的な移動を行い、慣れ親しんだ自らの文脈を切断して、自らの内でありながら「異なるもの」を見出すことを企図する。金氏徹平、パク・ミンヒ、ハイナー・ゲッベルス×アンサンブル・モデルン、ダレル・ジョーンズ、トリシャ・ブラウン・ダンスカンパニーらが参加。

Ⓔロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場春秋座、京都府立文化芸術会館ほか

Ⓔ京都国際舞台芸術祭実行委員会  
Tel. 075-213-5839

●神戸市 9月9日～11月23日

### 六甲ミーツ・アート 芸術散歩2017

現代アートを通じて自然豊かな六甲山の魅力を再発見する展覧会。2010年に始まり、8回目となる今回は公募アーティストを含む全39組のアーティストが出演。神戸市立六甲山牧場を新会場に加えた全11会場をピクニック気分で行くことができる。会期中はワークショップやパフォーマンスなど、さまざまなイベントも行われる。

Ⓔ六甲ガーデントラス、六甲オルゴールミュージアム、六甲有馬ロープ

ウェー(六甲山頂駅)ほか

Ⓔ六甲ミーツ・アート 芸術散歩

2017インフォメーション

Tel. 078-891-0048



さとうりさ《あべちゃん、なんかついてるよ》  
2017年/自然体感展望台 六甲枝垂れ

●神戸市 11月3日～25日

### 下町芸術祭2017

神戸の下町風情残る長田エリアを舞台に、地元のアーティストやアートマネージャー、商店主らにより実行委員会を構成して開催している芸術祭。2回目の今年は「境界の民」のコンセプトの下、劇場や空き家となった古民家などの地域資源を活用して、29組のアーティストによる現代アート作品の展示やパフォーマンスを実施。

ⒺArtTheater dB KOBE、ふたば学舎、角野邸ほか

Ⓔ新長田アート commons 実行委員会  
Tel. 078-647-7430



空き店舗でのパフォーマンス(2015年11月)  
撮影:岩本順平

●奈良県全域

10月21日～11月5日

### 奈良・町家の芸術祭 はならあと2017

2011年に始まった空き町家を活用したまちづくりアートプロジェクト。メイン会場となる「喜楽座(きらくざ)」(通常非公開)は、重要伝統的建造物群保存地区内に芝居小屋が残る事例としては全国的に珍しい特色ある歴史的建築物で、文化が育まれていた過去、そして息を吹

き返す未来を見据えながら展覧会を開催する。

Ⓔ奈良県全域(宇陀松山エリア、橿原エリア、吉野町国栖エリア、曾爾村エリア)

Ⓔ奈良・町家の芸術祭HANARART  
実行委員会 Tel. 0745-80-2312

●山口県宇部市

10月1日～11月26日

### 第27回UBEビエンナーレ (現代日本彫刻展)

1961年に、戦後の街の美化と心の豊かさを求める市民運動を契機として始まった大規模な野外彫刻の公募展。世界約30カ国のアーティストが応募するまでに発展し、展覧会終了後、上位受賞作品は市内に設置されている。今年は29カ国から277点の作品が応募され、鑑賞ツアー、ダンスパフォーマンスやトークショーなども行われる。

ⒺUBEビエンナーレ彫刻の丘 ときわミュージアム

ⒺUBEビエンナーレ事務局

Tel. 0836-37-2888

●長崎県長崎市

9月17日～10月25日

(展示期間9月27日～10月25日)

### 長崎アートプロジェクト2017 「ニット・インベーター in長崎」

国内外で活躍する現代美術アーティストが長崎に滞在し、地域の人々と交流しながらまちを舞台に作品を創ることで、気軽に現代アートを楽しんでもらうきっかけづくりとして平成22年度から開催。今年はニット作品でまちを「侵略」するプロジ



ニット・インベーター in 水都(2015年/大阪市中之島公園ほか)

エクトを各地で展開しているハイパーニットクリエイター・カ石咲を招聘。作品展示のみならず、屋外での公開制作やワークショップも開催し、作品が生まれる過程やアーティストとのふれあいを楽しめる。

Ⓔ長崎歴史文化博物館および中島川～寺町エリア

Ⓔ長崎市 Tel. 095-842-3782

●大分県竹田市

10月14日～29日の土日 ほか

### TAKETA ART CULTURE 2017

2011年に竹田市に移住した美術ユニット・オレクロナカによりスタートし、今年7年目を迎えるアートプロジェクト。デザイナー・猿山修と、キュレーター・花田伸一をゲストに迎え、2018年秋をゴールとする竹田市在住クリエイターとの協働プロジェクトのキックオフとなる。まち歩きをしながら、竹田市内外を拠点に活動するアーティストや工芸家、写真家、書家等による作品が楽しめる。

Ⓔ大分県竹田市城下町エリア一帯

Ⓔ竹田アートカルチャー実行委員会  
Tel. 050-3631-8538 (インフォメーションセンター:真抄洞shinshodo)

●大分県別府市

10月28日～12月24日

### 西野 達 in 別府

「in BEPPU」は2015年まで行われたトリエンナーレ「混浴温泉世界」(別府現代芸術フェスティバル)の後継企画として16年に始動した個展形式のアートプロジェクト。今回のアーティストは、大がかりなインスタレーションを手掛けてきた西野達。JR別府駅前の油屋熊八像や手湯を仮設物で囲んでホテルをつくる「油屋ホテル」など、市街地に複数の作品を点在させ、「芸術めぐり」として別府市内を回遊して楽しむことができる。

Ⓔ別府市内各所

Ⓔ混浴温泉世界実行委員会(NPO法人BEPPU PROJECT内)

Tel. 0977-22-3560

## ▼今月の情報(アーツセンター編)

新たにオープンした公立のアーツセンターを紹介します

### アーツセンター情報

#### ●埼玉県秩父市

##### 秩父宮記念市民会館

〒368-8686 秩父市熊木町8-15

Tel. 0494-24-6000

<http://www.city.chichibu.lg.jp/6955.html>

◎2017年3月26日オープン



東日本大震災で被災した旧市民会館を閉鎖・解体し、同じく被災した旧本庁舎の解体跡地に、新しい本庁舎と合わせて建築された。「郷土の誇り、芸術文化の創造空間としての市民会館」を施設のコンセプトとし、建設段階より市民と議論を重ねながら設計。秩父のさまざまな伝統芸能文化や市民活動を継承・発展させるため、幅広い舞台演目に対応できる設備を持つ。大ホールの内装には秩父産の木材を利用し、温かみのある空間になっている。

今後は、鑑賞事業のほかにも、開館記念として上演した市民参加型オペラのような創造事業も実施。またワークショップやアウトリーチ等による普及・育成事業や、参加・交流事業、地域の団体との連携事業などを通年で、独自の歴史・文化を活かし、市内外へ向けて「ちちぶの文化」を発信していく。

[オープニング事業] ちちぶオペラ『ミカド』、子供のためのシェイクスピア『リア王』ほか

[施設概要] 大ホールフォレスト(1,007席)、けやきフォーラム(360m<sup>2</sup>)、会議室2室(各70m<sup>2</sup>)ほか

[設置者] 秩父市

[管理・運営者] 秩父市

[設計者] (株)佐藤総合計画

#### ●富山県

##### 富山県美術館

〒930-0806 富山市木場町3-20

Tel. 076-431-2711

<http://tad-toyama.jp/>

◎2017年8月26日全面開館



©富山県美術館

国内有数のポスターアーカイヴやデザインチェアの収蔵で知られる富山県立近代美術館が、耐震性不足等により、富岩運河環水公園の敷地内に新築移転。旧美術館の機能を引き継ぎながら、新たに「アートとデザインをつなぐ」などをコンセプトに全面開館した。

建物には県の主要産業であるアルミや県産のスギ材など、地域資源をふんだんに活用。東向きの壁面は全面ガラス張りで、周囲の公園と一体化した開放的な空間を形成。屋上は佐藤卓デザインの遊具が設置された庭園で、アートやデザインを親子で体感できる空間となっている。今後は鑑賞事業はもとより普及事業を一層充実させ、アートを体感し、市民や県民、美術愛好家の交流の場となることを目指す。またワークショップや公開制作など、子どもから大人まで、来館ごとに新たな発見ができるような企画を展開していく。

[オープニング事業] 生命と美の物語 LIFE 一楽園をもとめて  
[施設概要] 展示室1~6(32m<sup>2</sup>~575m<sup>2</sup>)、アトリエ(214m<sup>2</sup>)、ホール、オノマトペの屋上ほか

[設置者] 富山県

[管理・運営者] (公財)富山県文化振興財団

[設計・管理] 内藤廣(内藤廣建築設計事務所)

#### ●島根県安来市

##### 安来市総合文化ホール アルテピア

〒692-0014 安来市飯島町70

Tel. 0854-21-0101

<http://www.artepia.jp/>

◎2017年9月9日オープン



愛称のアルテピアはアルテ(arte、スペイン語・イタリア語で芸術)、ユートピア(理想郷)の“ピア”から取られた造語で、多くの人々に親しまれる素晴らしい施設となるようにとの願いが込められている。

プロセニウム形式の舞台や音響反射板の設置により音楽イベントにも最適な大ホール、平土間形式にも対応して展示会やパーティー利用も可能な小ホールを備え、市民が質の高い芸術文化を楽しむことができ、さまざまな活動を通じて文化にふれることができる。

各種イベントはもちろん、体験型ワークショップや舞台芸術講座等の実施も予定しており、市民文化の振興と地域の活性化に努め、大勢の方に訪れていただける文化芸術活動の『Exchange Fun Base』(楽しめる交流拠点)を目指す。

[オープニング事業] 松竹大歌舞伎ほか

[施設概要] 大ホール(1,008席)、小ホール(300席)、展示室(82m<sup>2</sup>)、練習室(102m<sup>2</sup>)ほか

[設置者] 安来市

[管理・運営者] 有限会社アクティブ・プロ・(株)JTBC中国四国IC事業部共同事業体

[設計者] RIA・田中・ケーアイ設計共同体

#### ●データの見方

情報は所在地の北から順に掲載しています。●で表示してあるのはアーツセンターの所在地です。以下名称、住所、電話番号、公式サイトURLを記載しています。また、基礎データとして、設置者、運営者、ホール席数など施設概要を紹介しています。

#### ●情報提供のお願い

地域創造では、地域の芸術環境づくりを積極的に推進するアーツセンター(ホール、美術館などの施設のほか、ソフトの運営主体も含みます)の情報を収集しています。特に、新規の計画やオープンなどのトピックスについては、この情報欄に掲載していく予定です。このページに掲載を希望する情報がございましたら、情報担当までご連絡ください。

#### ●情報提供先

地域創造レター担当  
Fax. 03-5573-4060  
Tel. 03-5573-4066  
[letter@jafra.or.jp](mailto:letter@jafra.or.jp)

## ▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

### 広島市

#### 広島県民文化センター

### 「広島神楽」 定期公演



上: エントランスでのデモンストレーション  
下: 『葛城山(土蜘蛛)』を熱演する富士神楽団

#### ● 2017「広島神楽」定期公演

[会期] 2017年9月6日

[出演] 富士神楽団(北広島町)

演目: 『葛城山(土蜘蛛)』『八岐大蛇』

[会場] 広島県民文化センター(指定管理者: RCC文化センター・イズミテクノホールマネジメントグループ共同事業体)

#### ● 広島神楽

県北西部の「芸北神楽」、瀬戸内沿岸部の「安芸十二神祇」、瀬戸内の島々などの「芸予諸島の神楽」、県北東部の「比婆荒神神楽」、県中・東部の「備後神楽」の大きく5つに分けられる。

#### ● NPO法人広島神楽芸術研究所

2004年設立。広島を中心とした中国山地の神楽などの情報収集・調査研究・活動支援を行うNPO法人。神楽ポータルサイト「神楽の杜」(<http://www.npo-kagura.jp/>)を運営するほか、県や市の神楽イベントの監修、北広島町の文化施設の指定管理も受託する。

#### ● 富士神楽団

60以上あるという北広島町の神楽団のひとつ。北広島町大朝が拠点。団員は17名。ちなみに北広島町では、神楽による地域の活性化を目指し「神楽振興計画」を策定・推進している。

海外からの観光客に向けたコンテンツとして、また東京2020の文化プログラムとして、祭りや神楽などの豊かな地域文化に注目が集まっている。公立ホールとしてどのような取り組みが考えられるか——その参考例のひとつが、広島県民文化センターのホール神楽定期公演(4月~12月の毎週水曜夜7時開演、入場料1,000円)だ。

9月6日、取材に出掛けると、開演1時間前には文化センター前広場に敷かれた緋毛氈の上で呼び込みのパフォーマンスが始まった。文化センターは平和記念公園からも徒歩15分、繁華街の一画にある。通行人や外国人観光客が見守る中、富士神楽団がお囃子を演奏し、和紙と竹でできた大蛇の蛇胴の着付けを公開し、舞を披露。大蛇との記念撮影も行われていた。

神楽定期公演がスタートしたのは2014年。前年に中国放送傘下のRCC文化センターが指定管理者になってからだ。同社(旧RCC総合企画)は、1999年から2,000席規模の大ホールに約10団体の神楽団が揃う「RCC早春神楽共演大会」を開催してきた。その企画を立ち上げたのが、指定管理者として文化センター初代館長に就任した林秀樹(現・NPO法人広島神楽芸術研究所理事長)だ。

「神楽の競演大会を観に行ったら、茶髪の若いカップルが同世代の舞手に声援を送るなど盛り上がりがあった。市内ではなかなか観ることのできないこうした神楽は舞台公演としても楽しめるのではないかと思った。無料で見られる神楽にチケット代を払う人はいないと言われたが、5,500円で超満員になった。文化センターの指定管理者公募に際し、『広島県の伝統芸能を広める自主事業』として神楽定期公演を提案した」と振り返る。

広島は県内で約300の神楽団が活動する日本有数の神楽どころだ。大きくは5つに分けられ、最もエンターテインメントなのが石見神楽の流れを汲む県北西部の「芸北神楽」と言われている。定期公演ではその芸北神楽約120団体に呼びかけ、20~30団体が出演している。

ホール神楽の舞台制作者でもある広島神楽

芸術研究所の増田恵二事務局長は「芸北では戦後から地域毎に競演大会が催されるようになり、今年で70回を数えるところもある。伝統的な旧舞を伝承するだけでなく、競演大会の優勝を競う中で演出も磨かれ、テンポも速い新舞が発達していった。それを“スーパー神楽”として市内で上演する神楽団が出てくるなど、独自の文化をつくり上げてきた。こうした創造的伝承が広島神楽の特徴になっている」と言う。

本番では土蜘蛛や大蛇との派手な立ち回りが見所の『葛城山(土蜘蛛)』『八岐大蛇』が上演されたが、約200人の観客の内、2割が外国人観光客だった。司会による英語混じりの解説、日英併記の無料パンフレット(HPにも英語専用サイトがある)などインバウンド対応に力を入れ、終演後には舞台上で撮影会などの交流も行われていた。定期公演2度目の出演だという富士神楽団の石川泰典代表は、「20歳代の若いメンバーが多く、こうしたホールでの上演機会はとても励みになる」と話していた。

今年度は、県からの新たな委託事業として、広島県立美術館講堂で外国人を対象にした神楽公演も行われた。神楽事業を担当する砂田充教は「人気神楽団は仕事をしながら厳しい稽古を行い、年間50回以上の公演を行うなど過密状態になっている。後継者育成や神楽ファンの高齢化も課題だ。文化センターとしてできることは、繁華街にある立地を生かした定期公演を通じて観客を増やし、神楽ファンを開拓することしかないと思っている。ここを入り口に県内各地の神楽の本場に足を運んでもらえれば」と言う。

定期公演の会場で、黄色い揃いのはっぴを身につけたカーブ女子ならぬ“ひろしま神楽女子”と出会った。代表の須美ひろ江は、「神楽を舞っていた祖父の影響で神楽好きになり、14年7月にフェイスブックで広島近郊の神楽女子が集まるコミュニティを立ち上げた。競演大会も追っかけで行っている」と笑顔で、仲間と一緒に楽しそうに呼び込みをしていた。現在、登録メンバーは約250人。こうしたファン・コミュニティを“見える化”できたのも、定期公演のひとつの成果ではないだろうか。(田中健夫)